まちづくり応援マガジン
supported by Ohyamagumi

VOL.82

地域コミュニティの発展が日本中を元気にする！

元気宣言

平成29年5月31日（隔月刊）
www.ohyamagumi.co.jp
発行／株式会社 大山組
編集／大山組営業部企画室
発行部数／110,000部

ご希望の方には毎号直接無料でお送り致します。
こちらまで ➡ 0120-6600-62

大山組のリフォーム

「月日の経過が、風合いと信頼感を育む。」古来のノウハウを活かした本格リフォーム。

増本マネージャー

最新事例紹介

S邸

あの日のこだわりが、今の満足感に繋がりました。

無垢フローリングのリビング

骨董品を利用した引戸

木製造作引戸

S様より

前回のリフォームから10年が経過し、最近骨董引戸レールやトイレなど部分的に気になるところが出てきた時期でした。

この春に向け、家族で経営する会社のリフォームを大山組さんへお願いした際、担当の増本マネージャーさんが自宅での打ち合せついでに、気になっていた箇所を素早く修繕してくださいました。素材にこだわったリフォームをして頂いた結果、これだけ時間が経過しても劣化部分は非常に少なく、メンテさえ心がけていれば風合いに繋がっていくことを再確認することもできました。

地域密着型の建設会社さんにお願いするリフォームは、素材選びのアドバイスから始まり工事後のアフターフォローまで、建物に関する主治医のような存在で気軽に相談ができ、とても心強く感じております。

10年前、大山組で古民家風にリフォームされたS邸。骨董家具や自然材料などをふんだんに使ったこだわりリフォームのその後を再取材させて頂きました。

S邸リフォームのポイントとなったのは開放感のあるリビングダイニング。藁を練りこんだ珪藻土で仕上げた壁と天井、重厚な木目のある幅広な無垢材フローリングがまるで里山の古民家へ訪れたかのような気分にさせてくれます。リビングとダイニングを仕切る木製造作引戸、廊下との境となっている骨董引戸、何れもお手入れが行き届き深い味わいを醸し出していました。市販の建材によるリフォームとは異なり、日本古来の素材を活かしたリフォームは、耐久性にも優れ月日を感じさせない魅力を放っていました。

【物件概要】
○工事内容／内装工事
○用途／戸建住宅
○築年数／22年
○所在地／中原区今井仲町

0120-6600-62
受付時間 8:00～17:30　月～金 ＊土日祝休

惚れなおせる家
大山組のリフォーム

家が若返ったら
夫婦仲までなんだか
あの頃、みたい。

武蔵小杉エリアで70年
株式会社 大山組

www.ohyamagumi.co.jp
Tel 044-411-3708　Fax 044-433-4595
〒211-0006 川崎市中原区丸子通1丁目 640-5

一挙両得

RESIDENCE*duo*
自邸 ＋ 賃貸 ＝ レジデンス デュオ

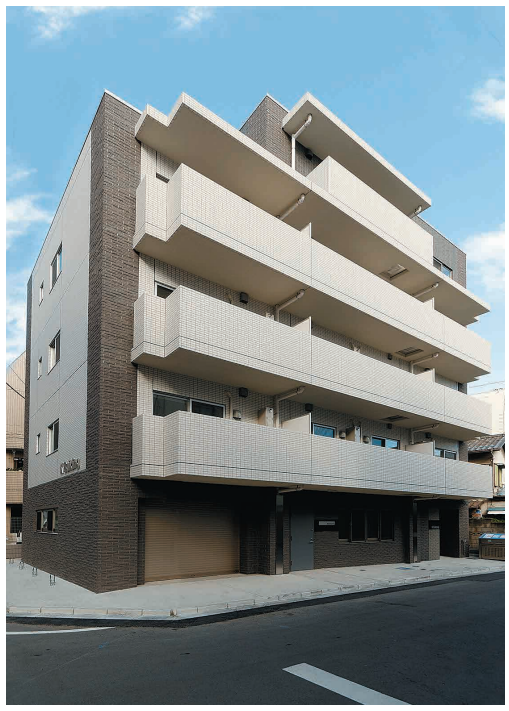
オーナー邸付き賃貸マンションのトータルサービス

東急沿線在住の方のための**50坪**から始められる土地活用

K ビルディング

事例紹介

「新たな我家が、新しい収入を生む。」自社オフィス＋ 賃貸マンションによる新たな土地活用のかたちです。



自社ビルの建て替えを機に、敷地の有効活用を考えていたK社様。当初は、オフィス兼社員寮ということで計画を進めていらっしゃいました。

そこへ「新たな我家が、新たな収入を生む。」というコンセプトの『Residence duo』サービスを提案させて頂いたところ、収益を生み出す新自社ビルという考え方に共感いただき、オフィス兼賃貸マンションというプランを改めて作ることになりました。

細やかなヒアリングや打ち合わせを重ねた結果、1階と5階をオフィスとし、5階の会議室横には屋外テラスを設置。社員がＢＢＱなども楽しめるリフレッシュ空間となりました。

一方、賃貸部分は2階～4階に集約。ワンルームマンションのひしめく周辺環境を考慮し、供給の少ない1LDKの部屋を9戸設けました。病院が隣接する地域特性もあり、入居者募集時より看護師さんや医療関係者からの問い合わせが殺到し、即日、満室御礼！となりました。

今回の建て替え計画では、K社社長様にオフィスの完成とともに、収益化の面においても大変喜んで頂くことができました。

オフィス部

1階

5階

エントランス

会議室横のテラス

【物件概要】
○名称／K Building
○構造規模／RC造5階建（ラーメン構造）
○用途／事務所（1階・5階）兼共同住宅9戸（2～4階）
○敷地面積／215.72㎡
○延床面積／591.98㎡
○所在地／川崎区新川通

賃貸部

日当たりのよいリビング

モノトーン調のシックな室内

三連引戸

こんなことも しています

アット@Ohyama　小杉の小学校新設工事スタート！

武蔵小杉エリアの再開発による人口急増に備え、川崎市が日本医大跡地に新設する（仮称）小杉小学校。この未来を担う子どもたちの学び舎作りも大山組の仕事です。

本誌においても２年後の開校に向け、最新のデジタル技術を駆使し、定期的に工事の模様をご紹介していきたいと思います。

まず手始めとして今回は桜が開花した頃の更地の建設予定地の３６０°ビュー画像を Web上に用意しました。地上１０mに設置したカメラから撮影した建設前の風景です。是非ご覧下さい (^ ^)。

施工：大山・野州共同企業体

（仮称）小杉小学校

360° ビュー ▶

日本医大跡地

編集後記

小杉の新小学校の建設が始まります。少子化で学校の統廃合が進むこの時代、非常に珍しい小学校の新設に私たちもとてもワクワクしています。小杉の再開発は超高層などの大型工事ばかりでスーパーゼネコンの独壇場でしたが、ようやく巡ってきた地元建設会社の出番。地域の皆様にご協力頂きながら安全第一で工事を進めて参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。(^^);（こ）

元気宣言へのご意見ご要望をお待ちしております。ホームページのお問い合わせフォームもしくは郵便（大山組本社宛て）で「元気宣言係」まで。宜しくお願い申し上げます (^^)

今月の駄洒落…「バインダーを買えばいいんだー！」（中原区　堀口 泰幹さん）★★★